

令和5年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立入新井第一小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 昨年度の課題について

《五年》

- ・裁縫では、裁縫道具の使い方の習熟を深めることやガスコンロの使い方は、引き続き行う必要がある。
- ・布を用いた製作について、自ら作成していけるようになるために、考えを広げたり深めたりすることが必要である。
- ・一連の学習過程を通して身に付けた力を生かして実践していくために、見通しをもって活動できるようにすること。

《六年》

- ・玉子を上手く割ることができないなど、技術の向上を図っていく必要がある。
- ・自分で献立を考える際に、栄養バランス等に気を配って献立作りをすること。
- ・一斉授業でも実習でも学級の一員という自覚をもち、進んで協力しようとする態度を養うこと。
- ・学習したことが役に立つ喜びを味わわせること。

(2) 今年度の課題について

《五年》

- ・裁縫では、針の穴に糸を通す作業や玉結びが難しい児童もいることから引き続き指導を行う必要がある。
- ・既習事項を実践するためにも、ICT等を使用して家庭での課題をしていく必要がある。

《六年》

- ・一斉指導や実習を通して、学級のためにも全員が進んで協力しようとする態度を養う必要がある。
- ・調理実習や洗濯実習を行うことで、児童の技術の向上をさらに図っていくようにすること。

2 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・布の縫い方や調理の進め方などやり方を書画カメラに写し実際に見せたり、動画を交えたりした説明を行う。・実習を行う際は、進め方を指導するだけでなくポイントや注意点を児童と確認しながら進めていく。	<ul style="list-style-type: none">・布を用いた製作では、自分のアイデア（自分の名前を縫ったり、ワンポイントで飾りをつけたりなど）を自ら考え実践できるように取り組んでいく。	<ul style="list-style-type: none">・児童が分かりやすい発問や、復習を行うことで、知識の定着を図っていく。・黒板には学習の流れを提示し、授業の見通しがもてるようにしていく。